

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 21.3.13 第 171 回国会第 2 号

3 月 13 日（金）第 2 回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・塩谷文部科学大臣、萩生田文部科学大臣政務官、浮島文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

井澤京子君（自民）

- ・経済状況の悪化が、教育格差を拡大しているのではないかと懸念がある。私立高等学校の授業料滞納者数、経済的理由によって高等学校を中途退学した者の数、授業料減免等の措置を受けた者の数及び高校生を対象とした奨学金事業の内容について伺いたい。
- ・文部科学省の調査結果によると、児童生徒の携帯電話所持率は高く、高校生に至っては約 9 割が携帯電話を所持している。児童生徒の携帯電話所持に係る問題について、文部科学省の取組方針を伺いたい。
- ・財団法人日本漢字能力検定協会について、公益法人としては巨額の利益を上げ、また、その運営内容に不透明な部分がある等として問題となっている。文部科学省の同協会に対する指導監督の状況について伺いたい。

阿部俊子君（自民）

- ・学校施設の耐震化についての現状及び今後の取組方針について、文部科学省はどのように考えているか。
- ・発達障害を持つ生徒に対して高等学校等の入学試験時にどのような配慮が行われているか。
- ・看護教育の現状及び今後の充実方策について、政府はどのように考えているか。

福田峰之君（自民）

- ・現在の特別支援教育において、子ども一人一人の教育的ニーズに対応した個別の教育支援計画等の作成状況を伺いたい。
- ・幼稚園における個別の教育支援計画作成が十分でないなど、学校種別によって対応に差が出る理由は何か。
- ・個別の教育支援計画が小・中・高など学校間で情報共有されているかについての現状及び今後の取組について伺いたい。
- ・就労を望む生徒の障害の状況をどのように企業側に伝えているのか。

池坊保子君（公明）

- ・大麻等の薬物乱用防止には子どものころから薬物の害を教えていく必要があると思うが、中学及び高校における薬物乱用防止教室の実施率が 6 割程度にとどまっている現状について、大臣に伺いたい。
- ・大麻の種子の取引や栽培について、現状では許可を受ければ合法ということになっているが、より厳格な立場から改善の余地があるのではないか。
- ・経済状況の悪化により、苦境に立っているブラジル人学校を支援するため、公立学校の空き教室を利用した支援策を行うべきであると思うが、いかがか。

小宮山洋子君（民主）

- ・児童生徒のコミュニケーション能力を養うために創作劇を利用した教育が効果的であると思うが、大臣の見解を伺いたい。
- ・理科教育の充実を図る上で、細かすぎる検定意見を付する現在の教科書検定の在り方には問題があると思うが、大臣の見解を伺いたい。
- ・夜間中学の設置の促進や広報の推進、また環境整備等について、国がより積極的に支援するべきだと考えるが、いかがか。

笠浩史君（民主）

- ・経済状況の悪化により、教育を受ける機会の格差が生まれるのではないかと懸念がある。文部科学省において、様々な就学支援策を実施しているが、これらの施策について大臣の見解を伺いたい。
- ・文部科学省の調査結果によると、高校中退者のうち経済的理由による者が 3.6% を占めている。しかし、進路変更や家庭の事情等による中退者の中にも経済的理由による中退者が含まれているのではないか。
- ・日本私立中学高等学校連合会の調査結果によると、私立高等学校における授業料滞納者が、平成 20 年 12 月末時点で、平成 19 年度末と比べて約 3 倍になった。今後、経

済的理由による中退者や、大学への進学を断念する者が増えるのではないかと考えるが、大臣の見解を伺いたい。

- ・学校施設の耐震化について、耐震診断実施率が 100%としない理由及び現在の耐震化の進捗状況について伺いたい。また、平成 23 年度までに倒壊が危険な学校施設の耐震化を完了させるべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。

田 島 一 成君（民主）

- ・塩谷文部科学大臣が発表した『「心を育む」ための 5 つの提案』にある「校訓を見つめ直し、実践する。」の項目は、校訓ではなく、各学校の教育目標のような自主的に完成されてきたものでも対象になるのか伺いたい。
- ・学生に対する奨学金の未返還金額が経年増加し続けているが、その背景と原因について大臣の見解を伺いたい。
- ・奨学金事業の事業費は無利子奨学金が中心だったと考えるが、近年、有利子奨学金の増加が目立ち、民間の貸金事業と変わらなくなってきており、学生に対する奨学金としてふさわしくない。制度を根本的に変える必要があると考えるが大臣の見解を伺いたい。
- ・日本に居住するブラジル人等の定住外国人の子どもたちへの就学支援や、ブラジル人学校の劣悪な施設環境の改善や通学定期券での登校が可能になるような支援策をどのように考えているか伺いたい。

石 井 郁 子君（共産）

- ・ポストドクター等 1 万人計画などの政府の方針により、

ポストドクター等が増えたが、博士課程修了後の研究者ポストなど就職先については、どのように考えていたのか伺いたい。

- ・ポストドクター等 1 万人計画により増えた若手研究者が正規に雇用されず、生活に貧窮している。これらの者に対する支援策を講ずべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・生活に貧窮している若手研究者は、収入が少なく生活が苦しいため、奨学金を返済する余裕がない。このような者について、奨学金の返還猶予を拡充する必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

日 森 文 尋君（社民）

- ・PISA（OECD 生徒の学習到達度）調査において、子どもの学力と家庭環境・経済状況の関係について、どのように調査分析しているか。また、調査結果における日本と他の OECD 諸国の違いについて、文部科学省はどのように認識しているか。
- ・文部科学省の子どもの学習費調査の結果によると、世帯収入の違いにより学習塾費など補助学習費の額に大きな差が出ている。保護者の所得格差が子どもの学力に影響していることについて、大臣の見解を伺いたい。
- ・『「心を育む」ための 5 つの提案』について、文部科学行政における位置づけ及び具体化の方策について、大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 21 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領において、教育委員会が調査結果について、同要領と異なる扱いをしないためにどのような記載をしているか。

- 2 独立行政法人に係る改革を推進するための文部科学省関係法律の整備等に関する法律案（内閣提出第 18 号）
- ・塩谷文部科学大臣から提案理由の説明を聴取しました。